

なく、徒なる空騒ぎ運動に移る。

吾等は、固より以上の認識に起つて、實忠に吾等の役目に従事し來つたのであるが、奈何せん、黨一年の活動は闘争力の一切を擧げて外部的に集中せざる可らざる事件頻出し、従つて一般黨員に落着いて教育を受ける時間的餘裕の比較的少かりしは、また已むを得ざる處であつた。

されど、本年は吾が社會民衆黨八幡支部にとり飛躍的一年であつたと同時に、吾が組織部にとつても亦、多忙にして收穫多き一年であつた。

本年一月、社會民衆黨本部が黨の言論機關として及び教育機關として、「社會民衆新聞」の發行を爲し、吾が支部が之れと協力して其の企ての成功の爲めに努力するに到るや、吾が教育部は、黨員の間に於ける機關紙の普及こそ吾部の全力を注ぐ可き仕事なりとして、讀者の獲得、紙の配布、レポートの送附等に努力したる結果、今や本部機關紙部より送附し來る紙数は毎月五百部に達し、而も今後益々部數増加の可能性を掴み得るに到つた。支部全黨員に對する五百は其の購讀率に於て猶ほ低尠である。來る可き一九三〇年度に於ては、吾部は一千部を目標として全力を致すであらう。

次に、吾部の活動の中、最も重要にして、特筆に値するものは、(一)、聯合會巡回講演會の開催と (二)、民衆政治學校の開催 是れである。

- 一、中央委員會及全國議員大會報告
 - 聯合會書記長 伊藤 卯 四 郎
- 二、太平洋問題の無産階級的見方
 - 聯合會調査部長 高 次 昇

民衆政治學校の開催は、九州支部聯合會本年度の活動中最も重大意義を有つたものであつて、學問の民衆化、及び勤勞無産階級による社會科學の奉還への第一歩であり、全九州の勤勞階級及び黨員大衆の裡に自熱的聲援と渴望の渦を捲

起し、従つて全九州の資本階級及び國政の間に一大恐怖の衝撃を投じたる處の、九州社會運動發展史上に於ける劃期的事業であつた。是の偉大な事業に對し、吾が八幡支部及び支持団体労働組合同志會、共同研究會は、その會場の提供及び設備に、聽講學生の募集に、其他一切の資身的世話をして、九州各支部並びに支部派遣學生の万體の感謝を得たのであるが、吾が教育部は其の中心となりて聯合會の事業を扶翼した。

今、是の歴史的に記念すべき民衆政治學校の大様を左に報告して、一般黨員諸氏の参考に供しやう。

九州地方民衆政治學校概況

開校期間 自十月一日 至十月七日
 開講時間 毎日夜 七時—十二時 計六時間
 會場 八幡市春の町官業労働總同盟同志會本部大講堂

日時	學科	講師	日時	學科	講師
第一日 晝	社會思想解説(一)	龜井 貫一郎	第一日 夜	自治制總論	川原 次吉郎
第二日 晝	プロレタリア經濟學	原 彪	第二日 夜	社會思想解説(二)	龜井 貫一郎
第三日 晝	重要産業論	原 彪	第三日 夜	プロレタリア財政論	原 彪
第四日 晝	労働組合論	赤松 克麿	第四日 夜	英國労働黨發展史(一)	龜井 貫一郎
第五日 晝			第五日 夜	社會運動指導理論(一)	赤松 克麿